

2010 年度オンタリオ州予算

2010 年 3 月 25 日

●● 財政見直し

- オンタリオ州が導入した一連の措置により、今年度および中期の財政は大幅に節減され、昨年秋に発表された2009年度オンタリオ州財政・経済見通しの赤字予測を下回る結果となった。
- 現在、オンタリオ州は 2009-10 年度の赤字を 213 億ドルと予測している。
- さらに州の赤字は2010-11年度は197億ドル、2011-12 年度は 173 億ドル、2012-13 年度は 159 億ドルと漸次減少すると予測しており、2017-18年度 には均衡予算を達成する見直しである。
- 昨年秋のオンタリオ州 2009 年度財政・経済見通しの予測値と比較すると、州の財政見直しは 2009-10 年度は 34 億ドル、2010-11 年度は 14 億ドル、2011-12 年度は 21 億ドル改善した。
- 州政府は、州議会議員の給与凍結を 1 年から 3 年に延長し、また労働協約外の政党、および州議会スタッフ、および Broader Public Sector (BPS)/Ontario Public Service (OPS) の労働協約外の従業員の報酬体制を 2 年間凍結する法案の導入を予定している。政府はすべての団体協約を尊重する意向だが、今後の団体協約における報酬の漸増は財政計画には含まれていない。
- 州政府ではまた、中期的な基本事業費を 2010-11 年度レベル以下に凍結するほか、一部の長期インフラ投資のペースを減速する予定である。
- 2009-10 年度のオンタリオ州の歳出総額はおおよそ 1177 億ドルと見込まれており、これは昨年秋のオンタリオ州 2009 年度財政・経済見通しの予測値に比べ 24 億ドル (2.0%) 少ない。2009-10 年度から 2012-13 年度にかけての歳出総額は年平均 2.5% 増えると予測されているが、これは同期間の歳入増の約半分である。
- 州の歳入は安定し、回復の兆しを見せ始めている。2009-10 年度の歳入総額の予想は約 964 億ドル、また 2009-10 年度から 2012-13 年度にかけての歳入は年間平均 5.1% 増加すると予想される。
- 2009 年度予算で導入された税制計画により、新規事業投資におけるオンタリオ州の競争力が大幅に改善されたほか、州民の所得税が減税された。新規事業の税負担率を示す限界実効税率は 2018 年までに半減される予定で、これにより州は経済先進国の中でも最も魅力的な事業投資または雇用創出先のひとつとなることが期待されている。
- 世界経済の脆弱性が州の継続的な景気回復を脅かしていることから、2010 年度予算では慎重を期し、2010-11 年度には歳出額の変動に備え 20 億ドルの臨時費、また 2010-11 年度には 7 億ドル、2011-12 年度および 2012-13 年度には 10 億ドルの準備金を含めている。

オンタリオ州についての最新情報

を入手するには、www.ofna.on.ca にアクセスし、電子メールによる通知サービスにご登録ください。

- 債券発行
- 借入プログラム
- OFA 公報
- IR プレゼンテーション
- ウェブキャスト
- その他のイベント

中期財政計画および見直し¹ (10 億ドル)

	中間	計画	見直し	
	2009-10		2010-11	2011-12
歳入合計	96.4	106.9	107.7	112.0
歳出				
プログラム	108.8	115.9	112.9	114.3
負債に対する利息	8.9	10.0	11.1	12.5
歳出合計	117.7	125.9	124.1	126.9
準備金	-	0.7	1.0	1.0
赤字/(赤字)	(21.3)	(19.7)	(17.3)	(15.9)

注意: 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

¹ 歳入と歳出はどちらも固定資産教育税の改正に伴う財政中立的な会計変更を反映して、訂正報告されたものである。

当公報はオンタリオ州融資局によって編纂されました。内容は一般的な情報としてのみ使用されるべきもので、証券の売買を示唆または推奨するものではありません。いかなる証券委員会にも承認されておらず、証券購入の判断材料として利用するには不十分です。電子データの変換、ダウンロード、無許可の変更等を原因とする誤りが含まれたり、情報の一部が欠落している可能性があります。この文書には 1995 年米国私的証券訴訟改革法に則った「将来の予測」が含まれている場合があります。これらの将来の予測には不確定要素やリスク、その他の要素が含まれているため、実際のオンタリオ州経済の推移はこの文書内で明示的または暗示的に記された前景および経済見直しと異なる可能性があります。オンタリオ州は証券取引法或いは条例で定められている場合を除いて、新しい情報や将来の出来事、又はそれら以外の情報を将来の予測に反映させ内容を更新する義務を負いません。この文書の内容は発行された時点において信頼できる内容であると信じられたものですが、この文書に含まれる情報の正確さ及び完全さについては一切保証しません。

●● 経済見通し

- ・ オンタリオ州のすべての主要指標が景気後退時の低迷状態から回復していることから、州の経済が安定化し、また回復の兆しが見え始めていることは明らかである。
- ・ 州財務省では、実質州民総生産 (GDP) について 2010 年は 2.7%、2011 年および 2012 年はそれぞれ 3.2%、2013 年は 3% の成長率を見込んでいる。
- ・ 世界的景気後退による GDP の急落により、オンタリオ州の実質 GDP は 2011 年の第 1 四半期まで景気後退前を下回るレベルにとどまる見通しである。雇用の伸びは実質 GDP 成長率に遅行する傾向があるため、世界的景気後退前と同レベルに戻るまでには多少時間がかかると予想される。
- ・ オンタリオ州の輸出に対する世界的な需要の高まりや、政府による雇用・景気支援策、そして長期的な競争力と成長を促進する政策などを受け、成長率は堅調な伸びを示すと予想される。
- ・ 米国および世界経済の回復にともない、オンタリオ州の輸出も活性化しつつある。世界的な自動車販売の立ち直りにより州の自動車輸出も大幅に改善し、またその他の市場では、特にアジアの新興市場からの商品、工業製品、機械および設備に対する需要増加の恩恵を受けることが見込まれる。また、カナダの他州での成長もオンタリオ州からの他州への輸出を後押しする形となっている。
- ・ 景気が回復していることから、2010 年から 2013 年にかけての企業収益は年間平均 13.6% という堅調な回復をみせると予想される。企業収益の回復は、2009 年度予算で発表された税制改革による世界的需要の高まりと相まって、今後数年間にわたり事業投資を促進すると見られている。
- ・ 州の景気回復は、今後とも、政府による積極的な設備投資によって支えられる。2009 年の歳出の大幅な伸び (14.0%) に続き、州による設備投資は 2010 年にはさらに 16.4% 増加すると予想されており、これは他全州中 2 番目となるほか、国内平均をはるかに上回っている。

オンタリオ州の経済見通し (パーセント)	2007	2008	2009	2010p	2011p	2012p	2013p
実質 GDP 成長率	2.3	(0.5)	(3.4e)	2.7	3.2	3.2	3.0
名目 GDP 成長率	4.5	0.4	(3.5e)	4.4	5.0	5.3	5.0
雇用の伸び率	1.6	1.4	(2.4)	1.1	2.1	2.3	2.0
CPI インフレ率	1.8	2.3	0.4	1.9	2.1	2.0	2.0

p = 財務省計画予測、e = 推計 出処: カナダ統計局およびオンタリオ州財務省

●● 借入のアップデート

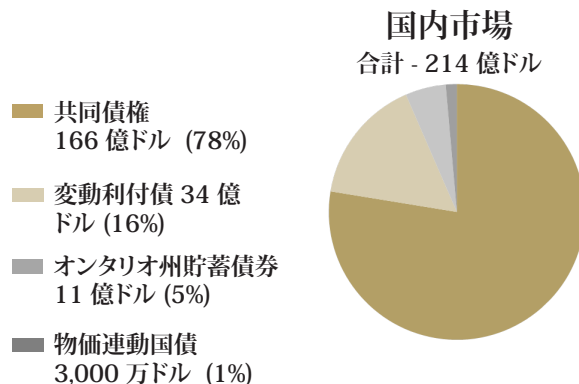
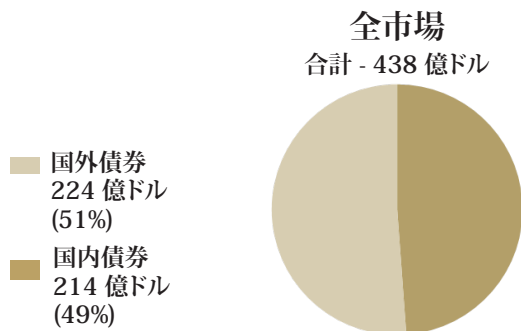
- ・ 2009-10 年度の間長期借入額は 438 億ドルで、国外の資本市場から 51% (224 億ドル) を借入。外貨建て債券としては、米ドル建てのグローバル債、ユーロ、スイスフラン、香港ドル建てのユーロ中期債 (EMTN) がある。
- ・ 予想赤字額の減少が主な要因となり、2009-10 年度の借入必要総額は昨年秋のオンタリオ州 2009 年度財政・経済見通しと比べ 60 億ドル減少した。これにより州の現金残高が増加したため、2010-11 年度における資金需要に対応するためのより高い柔軟性を確保することができた。
- ・ 予想を下回る変動金利債券の金利、および短期満期型の債券に対する融資の増加、また 2009 年秋の予想を下回る赤字額などの反映して、公債に対する利払いは 2009 年秋の予想値をほぼ 5 億ドル下回る結果となった。
- ・ 2009-10 年度から 2011-12 年度にかけてのオンタリオ州の借入必要総額は、昨年秋のオンタリオ州 2009 年度財政・経済見通しと比べ累計で 87 億ドル減少した。この減少は主にこの期間の赤字が予想を下回ったことに起因するものである。

2009-10 借入プログラム — オンタリオ州および OEFC (10 億ドル)

	秋期 見通し	中間	年内 変化
赤字	24.7	21.3	(3.4)
資本資産への投資	9.5	8.5	(1.0)
非現金調整項目	0.5	(0.6)	(1.1)
純貸付/投資	1.6	1.3	(0.3)
公債満期	14.7	14.6	(0.1)
公債償還	0.4	0.4	-
借入必要総額	51.5	45.5	(6.0)
カナダ年金基金よりの借入	(1.1)	(1.1)	-
短期借入額の減額/ (増額)	(7.8)	(6.0)	1.8
現金及び現預金の増額/ (減額)	-	5.5	5.5
長期公共借入総額	42.6	43.8	1.2

注: 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

借入のアップデート (続き)



中期借入見通し

オンタリオ州および OEFC (10 億ドル)	2010-11	2011-12	2012-13
赤字	19.7	17.3	15.9
資本資産への投資	9.8	10.6	10.4
非現金調整項目	(1.7)	(3.0)	(2.8)
純貸付/投資	1.9	1.8	1.0
公債満期	15.6	14.0	17.3
公債償還	0.4	0.4	0.5
借入必要総額	45.6	41.1	42.2
カナダ年金基金よりの借入	(0.8)	(1.1)	(0.8)
短期借入額の減額/ (増額)	(1.6)	(1.2)	(1.2)
現金及び現預金の増額/ (減額)	(3.5)	-	-
長期公共借入総額	39.7	38.8	40.2

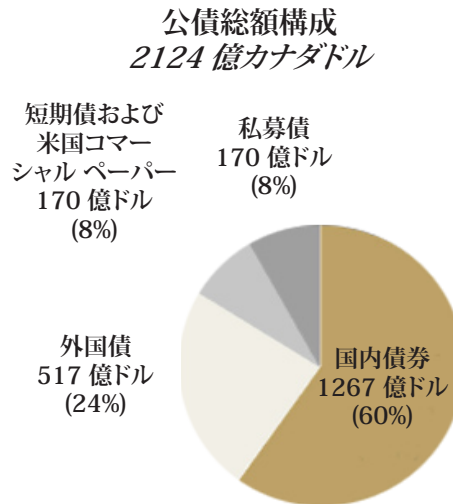
注：四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

- 2010-11 年の借入必要額は、主に赤字と資本資産への投資、満期公債の再融資に起因するものである。借入必要額の調達に向け、オンタリオ州では国内および国際市場を注視するほか、多様な期間・通貨での債券発行や投資家選好への対応など、柔軟なアプローチを継続する意向である。
- 2010-11 年度でも引き続きさまざまな借入先を検討することが主な目標。市場の状況に応じて、州では国内市場で少なくとも50%を起債する予定。

公債明細票

- 州の連結財務報告に Broader Public Sector (BPS) (病院、教区委員会、大学など) の歳入、歳出、資産、負債の改訂提示内容が反映されたことから、2009-10 年度から BPS の純負債が州の純負債に含まれることとなった。尚、この変更は年間黒字/赤字結果または累積赤字に影響するものではない。
- 2010 年 3 月 31 日時点でのオンタリオ州の純負債は、116 億ドルの BPS 純負債額を含む 1932 億ドルとなる見通しである。
- 2010 年 3 月 31 日時点での 2124 億ドルの公債総額は、短期および長期の公募および私募の両方で発行された債権、短期債および米国コマーシャルペーパーから構成されている。

- 外国債**
- カナダドル
 - 米ドル
 - ユーロ
 - ニュージーランドドル
 - スイスフラン
 - 日本円
 - 豪ドル
 - 英ポンド
 - 南アフリカランド
 - 香港ドル



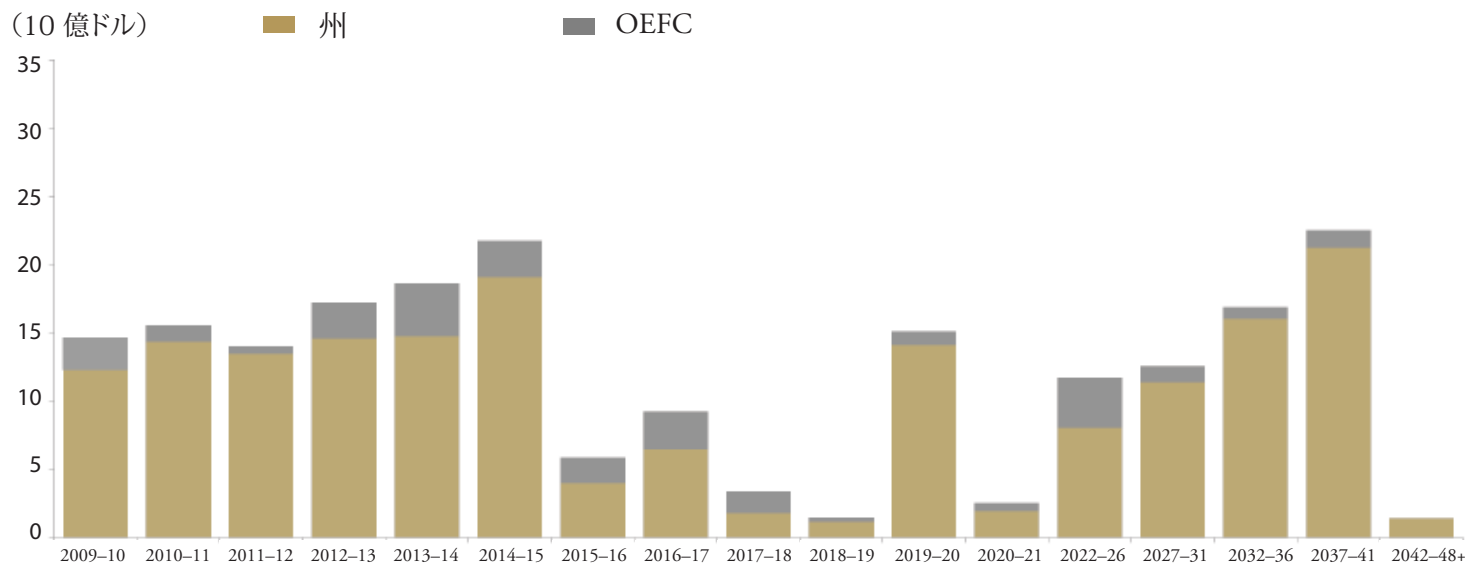
公債についての統計データ

公債		リスク エクスポージャー (公債の %)	現在	適用限度
公債総額	2124 億ドル	州		
純公債 ¹	1932 億ドル	純利率リセット エクスポージャー	11.1	35.0
累積赤字	1346 億ドル	外貨為替エクスポージャー	0.1	5.0
純公債 ¹ /GDP	34.1%	OEFC		
累積赤字/GDP	23.7%	純利率リセット エクスポージャー	16.5	35.0
公債についての統計データ		外貨為替エクスポージャー	0.0	5.0
公募債の割合	92.0%			
カナダドル建ての割合	76.6%			
実効利率 (加重平均)	4.57%			
2010 年 3 月 31 日までの予測		2010 年 2 月 28 日現在		

(10 億ドル)	中間	計画	中期前景	
	2009-10	2010-11	2011-12	2012-13
純公債 ¹	193.2	220.0	245.0	267.8
累積赤字	134.6	154.3	171.6	187.5

¹ オンタリオ州の純公債とは債務総額と金融資産総額の差を意味し、今回からはこれに BPS 純公債も含まれる。

公債満期



2010 年 2 月 28 日現在

短期借入金及びその他の公債、将来の再融資による増額分を除く。オプション付き債券は可能な限り早期に償還するものとする。

オンタリオ州融資局は州の借入および公債管理を行うオンタリオ州の政府機関です。

連絡先

投資家広報
オンタリオ州融資局
One Dundas Street West, Suite 1400
Toronto, Ontario M7A 1Y7
カナダ

電話 (416) 325-1661
ファックス (416) 204-6694
www.ofina.on.ca
investor@ofina.on.ca